

これからの 日本経済

本年は5月に平成から令和へと時代が変わりました。一年後の東京オリンピック・パラリンピックの開催を控えて気運も盛り上がってきています。一方で、政府の進めてきた地方創生政策は2020年に第二期を迎えます。

人口減少や少子高齢化の進む環境下で、地域経済社会はどのように活力を維持していけば良いのでしょうか。また地域の中小企業が取り組むべき優先課題は何なのでしょうか。

本号では、一つの節目を迎えたわが国の経済社会が、今後どのように変わっていくのかについて、「これからの日本経済」と題した特集を組み、3本の論文を取りあげました。

地方創生の「起爆剤」を探す

小黒 一正

01 ●

広がるヘルスケア産業の可能性

後藤 励

02 ●

AI導入の現状と中小企業の課題

坂田 岳史

03 ●